



くにたち

ジェンダー平等月間



正直、難しくてよくわからない。

自分には関係ない。

責められてる気がする。
怒られそうで怖い。

女性ばかり優遇されている気がする。
損する!ずるい!

就活では「ジェンダーを学んだ」と言わない方がいいってほんと?

フェミニストが騒いでるだけでしょ?

「ジェンダー」
ってどんなイメージ?

これまで通りに女らしくいたい。
男らしくいたい。

差別はダメだけど、
区別はいいでしょ?

差別なんてあるの?
困ってないです。

自分が気づかないうちに差別をしてしまってる?

ジェンダーの話をする、めんどろな人と思われんんじゃない?

みんなわかってくれない。
何も変わらない社会に
疲れている。

「ジェンダー」って何？

「ジェンダー」という言葉に、
どんなイメージを持ちますか？

難しくて正直よくわからない。

主張ばかりする人がいる。

責められている気がする。

炎上ばかりしている。

今のままじゃだめなの？

自分には関係ない。

なぜ、そんなイメージなのだろう？

「ジェンダー平等」を目指す中で沸き起こる、
ネガティブな思いや、様々な問題について
向き合ってみました。



「ジェンダー」とは

生物学的な性別(sex)に対し、社会的、文化的に作られる性別のこと。「男・女らしさ」といった社会によって作られた役割の違いにより生まれる性差。

知ってる?日本のいま。

日本の男女格差 ジェンダーギャップ指数

146カ国中 **116**位
(2022年世界経済フォーラム)

経済

賃金格差(正社員)
女性は男性の**7**割

政治

国会議員の数
女性は男性の**9.7**%

「女性だけが 辛いんですか？」

「男性も辛い思いをしている
ということを知って欲しい！」

パラソルには、そんな
男性からの声も寄せられます。

【DVに関する調査】

相談しなかった ▶ 男性**6**割/女性**4**割
(内閣府調べ)

【「引きこもり」の性別割合】 **約2.3**倍
男性**76.6**% / 女性**33.3**%
(内閣府調べ)

【自殺者数】 **約2.1**倍
男性**14,746**人 女性**7,135**人
(厚生労働省調べ)

少子化から見る 日本のジェンダー問題①

現在、少子化が課題となっ
ている日本。

政府による異次元の少子化
対策(経済支援)が議論され

ている一方で、様々な人が
圧や傷つきを感じています。

「子どもを望んでも
叶わない人もいる。」

「子どものいない人生を
望む人もいる。」

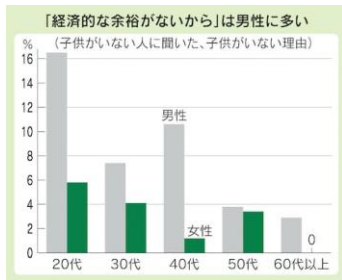
「国から子どもを産むこと
を、押し付けられている
感じがする。」

「今の日本が安心して子育て
出来る環境ではないのに…」

少子化から見る日本のジェンダー問題②

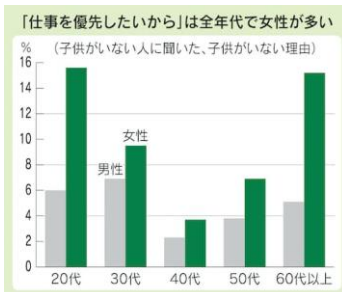
子どもをもつことに関して、女性はキャリア、男性は経済的な不安をかかえています。

引用：2023年日本経済新聞読者アンケート



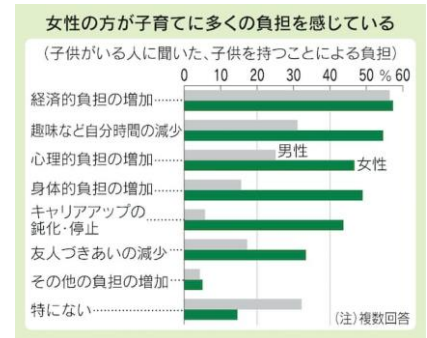
「子育ては女性がするもの」

という考えは根強くあり、子育ての負担、仕事との両立の負担を多く感じています。



「稼ぐのは男性の役割」

という考えも根強く、経済的理由から子を持つことに躊躇するの男性もいます。



産む産まないは自分で決められないの？

同性カップルの子どもは「かわいそう」？

さまざまな家族の形もあるよね？

<男> <女>の話かなあ？

今の社会が「出産・子育てしやすいとは言えない環境である」と多くの人、特に若い世代が感じてしまっているのかもしれない。

気兼ねなく産休・育休を取れる職場へ

三井住友海上火災保険が休業中の業務をカバーする同僚社員に、最大10万円を支給する「育休職場応援手当」を今夏創設へ。



「周囲に迷惑がかかる」といった心理的負担の軽減が狙い。

大企業だけでなく、今後はさまざまな企業・職場で、働きやすい環境が作られるように、国のサポートが望まれます。

なぜジェンダーは炎上してしまうの？

ジェンダー不平等について声をあげる人が、SNS等でバッシングを受けるケースが多く見受けられます。

「フェミニスト」

フェミニストとはジェンダー平等を目指し、性差別をなくそうとする人のこと。(男性もフェミニストになることはできます。)

しかし、「女性の権利ばかりを強く主張し、男性を排除しようとしている人」という間違ったイメージを持ってしまい、嫌悪の気持ちをぶつける人がいます。

「LGBT法」

性的マイノリティー(LGBTQ+)への差別をなくすための法律が議論されていた中で、様々なデマが人の不安を煽りました。

差別を禁止することが、誰かの安全を脅かすことに繋がることはありません。

なぜ批判や嫌悪は生まれるの？

「自分も辛いのに、他の人が守られることが許せない」

「新しい価値観を受け入れるのが不安。」

「大切にしてきたことが奪われる気がする。」

…そんな思いがあるのかもしれませんが。

しかし、

自分の辛さや不安を、他人への攻撃に変えることは許されることではありません。

あなたにもあるかもしれない「特権」

差別はしたくない。差別などしていない。
多くの人がそう思っています。
でもなぜ差別はなくなるのでしょうか。

平凡に見える特権

特権とは、「**労なくして得られる優位性**」のこと。持っている本人は自覚しづらく、差別につながることもあります。

自分の「特権」ってなんだろう？

アイデンティティ	マジョリティー	マイノリティー ^{NHK}
人種	日本人	外国人、在日韓国・朝鮮人 アイヌ など
出生時に わりあてられた性	男性	女性、他
性的指向	ヘテロセクシュアル	レズビアン、ゲイ バイセクシュアル、アセクシュアル など
性自認	シスジェンダー (身体と性自認が一致)	トランスジェンダー エックスジェンダー など
学歴	高学歴	低学歴
社会的階級	高所得	低所得
身体・精神	健康	病気、障害をかかえる
居住地域	大都市圏在住	地方在住

引用:NHK福祉情報サイト(上智大学教授出口真紀子氏提供)

特権を持つマジョリティー側では悩まないこと

- 夜道を歩く時、満員電車に乗る時に、不安に感じない。
- 結婚制度を利用することができる。
- 仕事を選ぶ時、結婚、子育ての両立ができるかを考えなくて済む。
- 初めて行く場所の道幅や坂道を確認しないで済む。

特権を持つてはダメなの？



特権を持つことが悪いことではありません。

大切なことは、自分の特権に気づき、マイノリティの存在を知ること。そしてその特権は差別をなくすために使うこともできるはずです。

マイノリティだけが声をあげるのではなく、マジョリティもともに声をあげることで社会はよりよくなるのではないのでしょうか。

分断ではなく共に進もう



私たちが持つ、様々なカテゴリー(分類)の中で分断と対立が起きている現状があります。

それは「性別」だけでなく、例えば「専業主婦と働く女性」、「子どもを持つ人、持たない人」「正規職員と非正規職員」、他にも考え方の違いにより、分断と対立が起きています。

一人で来店する女性などにファンが多い飲食店。

「Soup Stock TOKYO (スープストックトーキョー)」

子育て世代応援のため、離乳食無料提供の取り組みを実施すると、SNS上では様々な声があがった。

「狭い店内にベビーカーで特攻する親続出するよね。」

「今後絶対行かない。」

「クレクレママと子どもの奇声で地獄絵図。」

「子どもが嫌いなんておかしい？」

スープストックトーキョーの声明

(一部抜粋)

私たちは、お客様を年齢や性別、お子さま連れかどうかで区別をし、ある特定のお客様だけを優遇するような考えはありません。

私たちは、私たちのスープやサービスに価値を見出していただけるとすべての方々の体温をあげていきたいと心から願っています。皆さまからのご意見を受け止めつつ、これからも変わらずひとりひとりのお客様を大切にしていきます。

誰もが生きやすい社会を目指すために必要なのは、分断や対立ではなく、協力して共に進むことではないでしょうか？

社会を変えるための法制化

社会を変えるためには、私たちの意識を変えること、そして「法制度」が重要です。



- ・選択的夫婦別氏(姓)制度
- ・パートナーシップ制度や同性婚
- ・LGBT理解増進法
- ・性犯罪に関する刑法改正

LGBT理解増進法は6月16日成立。内容については、多くの課題が残り、今後も議論が必要とされています。

ジェンダーギャップ指数13年連続1位 アイスランドでは



以前は、男性社会であったアイスランド。
変わったきっかけは女性たちが声を上げたこと。



画像: Women's history archives

1975年 女性たちによるストライキ

女性も社会の柱であるということを証明するために、国民の女性のうち約90%が自分の仕事や家事をすべてストップするストライキを行いました。

その後、政治にも女性が次々と進出。

1980年 世界初、民主的に選ばれた女性大統領が誕生。

2009年 閣僚の男女比率が半々になり、同時に初の女性首相※が誕生。

(※アイスランドには大統領と首相がいる。)

2018年 性別による賃金格差を禁止する法律を施行(世界初)

育児休暇制度も充実。男性の取得率は8割を超える。

ともに歩んでいくこと

「ジェンダー平等」とは、
ひとりひとりの人間が、性別にかかわらず、
平等に責任や権利や機会を分かちあい、
あらゆる物事を一緒に決めることができること。

これまでのあたりまえを変えることは、
不安や、居心地の悪さを感じたり、
理想と現実のギャップに苦しんだりするかもしれません。

だからといって、それを誰かのせいにし、
攻撃したり、恨んだりしても、
あなたの悩みや、社会の課題は、決して解決しない。
そして、やっとの思いで声をあげた人たちが
尊重される社会であって欲しい。

私たちが今戦うべき相手は、
分断された相手なのでしょうか？

ジェンダー平等を目指して、大切なのは
話し合い、考え、ともに歩んでいくこと。

まずは安心できる人や場所から、話してみよう。
見つからないなら、いつでもパラソルに来てほしい。
そして、私たちも一緒に考えていきたいです。

あなたの声を聞かせて！ メッセージ募集



損だなと思うこと、得だなと思うこと。
どちらでもないというところ。
ジェンダーに関することなど。
付箋に書いて貼ってくださいね。



話してみない？

● ふらっと！しゃべり場 ●

ジェンダーや生きかたを語ろう！
色々な性別、色々な年代、誰でも参加できる座談会です。ご予約不要。



ソロ活って、さみしそうに見られるのかな？いやいや最高でしかない！ほうほうそれってどんな感じ？パートナーが居ても居なくても。あなたの「ソロ活ですが？」お話ししましょう！

相談しよう

辛い気持ちや、モヤモヤを感じたら、相談機関に相談してみよう。誰かに話すことで気持ちが整理できることもあるかもしれません。

● パラソルの相談 ●



生きかた相談

健康や、家庭、暮らし、仕事など、自分らしく生きていくうえで課題となる様々な不安や悩みをお伺いします。

平日(水曜以外)…10時～18時
土日祝…9時～16時

各種専門相談

ご予約ください。

法律
相談

みらい
のたね
相談

悩み
ごと
相談

SOGI
相談

※みらいのたね=キャリアカウンセラーによる相談

曜日・時間等はHPをご参照ください。相談ページ▶

ふらっと！しゃべり場
特設ページはこちらから。

当日のルールも掲載！



おすすめの本

10代から知っておきたい
女性を閉じこめる「ずるい言葉」

森山 至貴 (著)

差別はたいてい
悪意のない人がする

キム・ジヘ (著), 尹怡景 (翻訳)



ヘルジャパンを女が
自由に楽しく生き延びる方法

アルティシア (著)

新しい声を聞くほくたち

河野 真太郎 (著)



真のダイバーシティをめざして

ダイアン・J. グッドマン (著),
出口 真紀子, 田辺 希久子 (翻訳)

おしゃべりから始める
私たちのジェンダー入門

-暮らしとメディアのモヤモヤ「言語化」通信

清田隆之 (桃山商事) (著)



職場で使える
ジェンダー・ハラスメント対策ブック:
アンコンシャス・バイアスに斬り込む
戦略的研修プログラム

小林敦子 (著)



男女共同参画週間

毎年6月23日から29日までの1週間は、内閣府が定める「男女共同参画週間」です。

「男女共同参画社会基本法」の公布・施行日である平成11年(1999年)6月23日を踏まえ制定されました。



令和5年度のキャッチフレーズ

なくそう思い込み、
守ろう個性

みんなでつくる。
みんなの未来。

パネルに関するお問い合わせは「くにたち男女平等参画ステーション・パラソル」まで



<http://kuni-sta.com/>



info@kuni-sta.com
042-501-6990